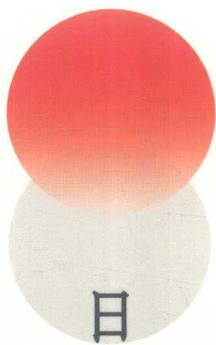


朝の鐘 暮れの太鼓を伴う読書の声

日本語短編朗読精粹

暮鼓



晨钟

日语短篇诵读精粹

第一辑

上海大学出版社

总主编 吴侃  
总顾问 皮细庚  
总策划 许家骏  
本册主编 章虹

# 晨 钟 暮 鼓

日语短篇诵读精粹

(第一辑)

总 主 编 吴 侃  
总 顾 问 皮细庚  
总 策 划 许家骏  
本辑主编 章 虹  
编 者 杨晓兴 刘尔瑟 许瑶瑶

上海大学出版社

· 上海 ·

## 图书在版编目(CIP)数据

晨钟暮鼓: 日语短篇诵读精粹. 第一辑 / 章虹等编  
著. —上海: 上海大学出版社, 2018. 7

ISBN 978-7-5671-3157-6

I. ①晨… II. ①章… III. ①日语-语言读物 IV.  
①H369.4

中国版本图书馆 CIP 数据核字(2018)第 132097 号

责任编辑 王悦生

封面设计 缪焱栩

技术编辑 章 斐

## 晨钟暮鼓——日语短篇诵读精粹(第一辑)

章 虹 编著

上海大学出版社出版发行

(上海市上大路 99 号 邮政编码 200444)

(<http://www.press.shu.edu.cn> 发行热线 021-66135112)

出版人 戴骏豪

\*

南京展望文化发展有限公司排版

江苏德埔印务集团公司印刷 各地新华书店经销

开本 890 mm×1240 mm 1/32 印张 9.5 字数 238 千

2018 年 7 月第 1 版 2018 年 7 月第 1 次印刷

ISBN 978-7-5671-3157-6/H·347 定价 37.00 元

# 总 前 言

今年将迎来我国改革开放 40 周年,而我国的外语教学与学习随着改革开放的推进而得到长足发展。日语的教学与学习构成我国的外语教学与学习中的重要部分,并已经积累起了丰富的经验。目前,学习者众多,教学水平不断提高,在世界上的二语习得中也占领了高地。

学习日语需要大量的阅读,从中学习单词、语法、固定搭配、习惯性表达方式等等。同时,通过阅读的文章了解日本社会,包括日本的传统文化和当前日本社会状况。这也符合我国推进“一带一路”、促进国际上的互联互通的基本国策。具体而言则是促进与日本的相互了解和沟通。本日语短篇阅读读物系列就是基于这一目的推出的。

本日语短篇阅读读物系列精选了日本的各个方面的短篇文章。内容涵盖日本传统文化、著名童话故事、反映日本社会现状的文章、青春小说、励志小说等。其中不乏我们已经耳熟能详的内容,更加有利于引发阅读、学习的兴趣。还加入了普通人写的推特文,这些文章更好地反映一些口语化的表达。这些表达有较多的省略、缩略等,历来是我们学习日语中的难点。

本日语短篇阅读读物系列中的文章不但富有启发性,而且生

动活泼,充满趣味性。除了可以集中阅读外,也可以充分利用碎片时间阅读,以提高时间利用效率。

本日语短篇阅读读物系列适用面广,适合高校日语专业学生、日语二外学习者、日语爱好者、培训机构日语学员和日企工作者等阅读。

总主编 吴 侃

总顾问 皮细庚

2018.3

# 序

你有多久没有朗读了？很久了吧？！年幼时的朗读，也许随着年龄的增长，被我们放置在记忆的一角落满灰尘。身处在信息碎片化的时代，有许多事情已经是我们淡忘的了，比如写信，比如朗读，人们或许不再有，也不愿花那么多的时间和精力去品味文字的魅力和力量。但是，如今随着《朗读者》《见字如面》《中国诗词大会》这样的节目播出，让大家不禁有一种恍如隔世的久违之感，也产生了发自内心的共鸣。这个时代需要人们重塑内心，需要人们重建观念。我们期待着朗读能从一种现象，变成生活的常态。在这样的时代呼声之下，《晨钟暮鼓：日语短篇诵读精粹》系列丛书应运而生啦！

作为一线的日语教育者，同样希望通过《晨钟暮鼓：日语短篇诵读精粹》系列丛书唤醒日语学习者心中对学习的渴望。长期坚持日语诵读，就会从感性上、直觉上、整体上去认识、感知、体验日语文字的精髓；长期坚持日语诵读，就能养成眼到、口到、耳到、心到的良好学习习惯。教育界的老前辈、学识渊博的叶圣陶先生曾经说过：“吟咏的时候对于探究所得的不仅理智地理解，而且亲切地体会，不知不觉之间，内容与理法化而为读者自己的东西了，这是最可贵的一种境界。”可见朗读绝不仅仅是让文字发出声音，更

是让文字内化进我们的精神领域中。

《晨钟暮鼓：日语短篇诵读精粹》系列丛书在上海大学出版社的精心策划下目前已推出第一、第二辑，第三、第四辑亦在酝酿中。众所周知，外语学习者除具备扎实的语言功底外，更应具备一定的文化底蕴和综合素养，而综合素养的培养更是离不开阅读和诵读的习惯。该系列丛书作为上海大学出版社即将推出的新时期日语系列教材的先行者及助力者，希望它能走进日语学习的课堂及日语学习者的生活，希望每一位日语学习者能够邂逅《晨钟暮鼓：日语短篇诵读精粹》系列丛书。在本日语短篇阅读读物系列的成书过程中，总顾问皮细庚教授对于本书给予了许多建设性的建议和指导，总主编吴侃教授为本书的纠错和润色付出了辛勤的劳动，总策划许家骏博士为本书的付梓辛劳奔走，在此一并向他们表示感谢。

日语诵读属于每一位日语学习者，用朗读和文字带我们走进丰富的情感世界吧！

章虹

2018.4.3

# 前 言

为提高日语学习者的阅读兴趣,培养良好的阅读习惯,丰富阅读素材,特选取内容生动、贴近现实、有助于日语学习者理解日本文化和社会的题材,构成《晨钟暮鼓:日语短篇诵读精粹》系列丛书。

本书为第一辑,内容由寓言童话、文化传统、世间百态及推特文学四个板块组成,每个板块收录十篇难度适中的短文,共计四十篇。

寓言童话板块选取了日本、中国及欧洲耳熟能详的寓言童话故事,在日本绘本的基础上加以改编而成。这些寓言童话故事是了解日本文化的重要窗口,也可以作为学习日语的重要途径。文化传统板块主要介绍包括衣食住行传统节日等内容,如选自大森和夫、大森弘子的《日本》等。世间百态板块则涵盖了现代生活的方方面面,如家庭、体育、娱乐、教育、医疗、经济等题材,都是和日常生活密切相关的内容。推特文学板块的选材主要来自日文版推特以及日本推特小说大赛的获奖作品。推特是全球互联网上访问量最大的十个网站之一,收录了各式各样风格迥异的微型小说,篇幅简洁但却丰富多彩,看似戛然而止却又意味深长。

每篇文章在人名、地名及较难读的生词上标注了读音,并参照



《日本语能力考试出题基准》，为部分能力考试 N3 级别以上的语法条目作了注释，旨在起到学习、复习和巩固语法基础的作用。此外，所有的短文均配有中文译文。

每天 20 分钟，无论是清晨，还是深夜，从一本《晨钟暮鼓：日语短篇诵读精粹》开启良好的日语阅读习惯吧。

# 目 录

## 一、寓言童话

|         |    |
|---------|----|
| かくや姫    | 3  |
| 笠地藏     | 8  |
| 舌切り雀    | 14 |
| 瘤取り爺さん  | 20 |
| 一寸法師    | 26 |
| 銀の腕輪(上) | 32 |
| 銀の腕輪(下) | 38 |
| 白雪姫(上)  | 44 |
| 白雪姫(中)  | 49 |
| 白雪姫(下)  | 55 |

## 二、文化传统

|        |    |
|--------|----|
| 華道     | 63 |
| 刺し身の風景 | 69 |
| 茶道     | 74 |
| 成人の日   | 80 |

|              |     |
|--------------|-----|
| 招き猫 .....    | 86  |
| 大晦日と正月 ..... | 92  |
| 振袖 .....     | 98  |
| 挨拶 .....     | 104 |
| 舞妓・芸妓 .....  | 110 |
| 風呂 .....     | 117 |

### 三、世间百态

|                |     |
|----------------|-----|
| 現代の生活 .....    | 125 |
| 住宅 .....       | 133 |
| 家族・家庭 .....    | 140 |
| スポーツ・娯楽 .....  | 146 |
| 教育・育児 .....    | 153 |
| 事件・事故 .....    | 160 |
| 衛生・医療 .....    | 167 |
| 政治・経済 .....    | 173 |
| 少子・高齢・女性 ..... | 179 |
| これからの社会 .....  | 185 |

### 四、推特文学

|                     |     |
|---------------------|-----|
| 140字の家族物語 .....     | 193 |
| 140字の友情物語 .....     | 203 |
| 140字の恋愛物語 その一 ..... | 213 |
| 140字の恋愛物語 その二 ..... | 223 |
| 140字のミステリー .....    | 233 |
| 140字のSF .....       | 241 |

|                          |     |
|--------------------------|-----|
| 140 字のファンタジー その一 .....   | 250 |
| 140 字のファンタジー その二 .....   | 259 |
| 140 字のブラックユーモア その一 ..... | 269 |
| 140 字のブラックユーモア その二 ..... | 279 |

## 一、寓言童话

---

---

かぐや姫

---

笠地藏

---

舌切り雀

---

瘤取り爺さん

---

一寸法師

---

銀の腕輪(上)

---

銀の腕輪(下)

---

白雪姫(上)

---

白雪姫(中)

---

白雪姫(下)

---



# かぐや姫

昔昔、竹取のお爺さんがいました。ある日、お爺さんがキラキラ光る竹を見付けました。その竹を切ったお爺さんは、目を丸くしました。竹の中には小さな女の子がいたからです。「きつと神様が授けてくださったのだ。」お爺さんは、女の子になよ竹のかぐや姫という名前を付けました。

お爺さんとおばあさんに育てられたかぐや姫は、美しい娘へと成長しました。何百人もの若者が、かぐや姫に結婚を申し込みました。けれど、かぐや姫は、誰にも会おうとしません。やがてかぐや姫は宝物たからものを持ってきてくれた人と結婚すると言いました。彼女が欲しがった宝物は天の国にある仏のみはち、決して燃えない火ネズミのかわごころも 裘、金の枝に銀の実をつけている蓬ほう 菜の枝、海の底に住む竜が持っている玉、燕つばめ が抱いている子こや 安貝すかい、見たことも聞いたこともないものばかりでした。

石作りの皇子みこは、国中を歩いて仏のみはちを探しましたが、見つかったのは古ぼけた石のおけ 桶ばかりでした。阿倍の右大臣は、猫の皮をきれいな箱に入れて持ってきました。が、火をつけたとたん<sup>①</sup>、皮はめらめらと燃えてしまいました。倉持の皇子が

持ってきたのは、金の枝に銀の実を付けた木でしたが、鍛冶屋に作らせたものでした。大伴の大納言だいなごんは、海に出て竜を探しましたが、どこを探しても竜はいませんでした。いくつもの船を作ったので、お金を使い果たしてしまいました。子安貝ちゆうなごんを探した石上の中納言、高いはしごを登って、燕の巣を見付けました。手を伸ばして巣をかき回すと、硬いものがあります。「あったぞ。燕の子安貝。」と喜んだとたん、はしごが倒れて、地面に落ちて腰を折ってしまいました。中納言の手にしっかりと握りしめられていたのは燕の糞でした。

みかど 帝もかぐや姫をお妃きさきにしようと思いました。「お妃になれば、だれよりも幸せになれる。」とお爺さんもおばあさんも言いましたが、かぐや姫は、帝にも会おうとはしません。

かぐや姫は黙って、部屋に閉じこもっているばかりでした。「一体どうしたのかね。かぐや姫。」心配して尋ねるお爺さんにかぐや姫は答えました。「私は、天の国の娘です。もうすぐ迎える者が来て、私を連れていきます。」お爺さんは、その話を聞いて、かぐや姫を一番奥の部屋に閉じ込めて、しっかりと扉とびらを閉めました。帝は、大勢の兵隊に家を守らせました。かぐや姫が天に帰る夜が来ました。兵隊たち、弓と矢を握りしめて、待ち構えます。月が明るく光ると、空には輝く雲が現れました。輝く雲が舞い降りるにつれて<sup>②</sup>、兵隊の体から力が抜けていきました。かぐや姫を閉じ込めた部屋の扉も、ひとりり③で開きました。かぐや姫は雲から降りてきた人たちに天の羽衣はごろもを着せられ、高く昇って行ってしまいました。部屋には、手紙と薬が残っていました。「これは不死身の薬です。飲むと、年を取ること



も、死ぬこともありません。帝にも差し上げてください。」お爺さんとおばあさんは、手紙を読みましたが、薬を飲もうとはしませんでした。かぐや姫には二度と会えないのに、長生きしたところ<sup>④</sup>で、何になるだろうと思ったからです。帝も、不死身の薬を使いませんでした。かぐや姫の手紙と薬は、天の国に一番近い山の上で燃やされました。燃やすと、すぐ灰になりました。が、煙<sup>けむり</sup>は今も残って、天に昇っていきます。人々は、そこを富士の山と呼ぶようになりました。

『日本お話名作全集』による



## 注釈

### ①【文型】たとたん(に):

◎解説：動詞の連体形(過去形)に接続するが、何か行為をなしたり、ある現象や状況変化が起こると、直ちに時を合わせて、それに関連した現象や状態変化が生ずることを表す。後件には意志性の文が基本的に使用しない。

◎例文：ドアを開けたとたん、冷たい風が入ってきた。/刚打开门,冷风一下子吹了进来。

### ②【文型】につれて:

◎解説：名詞及び動詞の連体形について、そうなるのに従って、そうなるのとともに、という意を表す。

◎例文：経済の発展につれて、国民も豊かになってきた。/随着经济的发展,老百姓也富裕起来了。